

目 次
「臨床薬理」 第 41 巻 第 4 号 2010 年 7 月

第 31 回日本臨床薬理学会年会予告 (4) 131E

特集／レギュラトリーサイエンス

巻頭言..... 小野 俊介ほか...125
1. 医薬品の市販後安全性に関する研究..... 齋藤 充生ほか...127
2. 医療機器の評価・規制の動向
—GHTF による規制の整合化および HBD による国際共同治験の実践—..... 佐瀬 一洋.....133
3. 食品のリスクをレギュラトリーサイエンスから考える..... 畝山智香子.....141
4. 医薬品の毒性評価の考え方..... 小野寺博志.....147

第 16 回 臨床薬理学講習会 (2009 年度)

「基礎から学ぶ臨床薬物動態」

1. 臨床薬物動態の基礎知識..... 安原 真人.....155
2. 薬物間相互作用..... 大谷 壽一.....159
3. 臨床薬理から見た薬物有害反応..... 越前 宏俊.....166
4. TDM (Therapeutic Drug Monitoring) 上野 和行.....170
5. ゲノム薬理学の治験への利用..... 安田 早苗.....176
6. 医薬品の臨床試験と承認審査における PK-PD の活用..... 佐藤 玲子.....181

REPORT

2008 年度日本臨床薬理学会海外研修員報告書—その 3—..... 荒木 和浩.....185

第 30 回 日本臨床薬理学会年会記録

目次..... 117S
シンポジウム11 マイクロドーズ臨床試験の現状と未来..... 119S
シンポジウム17 臨床研究の実施体制の構築..... 131S
シンポジウム19 臨床研究における臨床薬理学の貢献..... 139S

議事録

第 10 回理事会..... 133E

医薬品情報

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 268, 269, 270..... 137E

投稿規定..... 143E

お知らせ

臨床薬理専門医, 認定薬剤師更新手続き..... 145E
第 7 回認定 CRC 試験要項 他..... 147E
臨床薬理研究振興財団研究奨励金交付募集案内..... 152E

PROCEEDINGS

第30回 日本臨床薬理学会年会記録

日時 2009年12月3日(木)~12月5日(土)

場所 パシフィコ横浜(横浜)

会長 戸塚 恭一(東京女子医科大学感染対策部感染症科)

- シンポジウム11: マイクロドーズ臨床試験の現状と未来……………(座長) 山下伸二, 栗原千絵子
 座長のまとめ……………山下 伸二ほか…119S
1. ^{14}C 標識体マイクロドーズ臨床試験の実際と展望
 —プロジェクト・マネージメントの視点から—……………稲 野 彰 洋…121S
 2. 非標識体マイクロドーズ臨床試験の実際と展望
 —LC/MS/MS測定による試験の実施と新たな可能性—……………熊 谷 雄 治…123S
 3. PET マイクロドーズ臨床試験の実際と展望 —最適な製剤化と創薬開発への応用—……………渡 辺 恭 良…125S
 4. 被ばくを伴う臨床試験のインフォームド・コンセントと被験者の保護……………福 島 芳 子…127S
 5. 製薬企業からの期待 —創薬研究から臨床開発への架け橋を築く—……………金 淳 二…129S
- シンポジウム17: 臨床研究の実施体制の構築……………(座長) 内田英二, 笠井宏委
1. 国立循環器病センター臨床研究センターの活動について……………山 本 晴 子…131S
 2. 臨床研究実施体制の実際 —臨床にフィードバックできる臨床研究を目指して—……………牧 田 典 子…133S
 3. 臨床研究の実施体制を如何に構築するか —静岡がんセンターを例に—……………齋 藤 裕 子…135S
 4. 昭和大学病院における臨床研究支援への取り組み……………川村 芳江ほか…137S
- シンポジウム19: 臨床研究における臨床薬理学の貢献……………(座長) 中野重行, 長谷川純一
 座長のまとめ……………中野 重行ほか…139S
1. 臨床薬理学研究の基盤整備: 医学部における臨床薬理学講座開設と研究活動……………長谷川 純 一…141S
 2. 臨床薬理学の医学研究への貢献とその特徴: 歴代年会での発表演題に基づく検討……………藤 村 昭 夫…143S
 3. 合理的薬物治療における育薬の役割……………澤 田 康 文…145S
 4. 臨床研究における生命倫理と臨床薬理学者の役割……………笹 栗 俊 之…147S
 5. 臨床研究支援スタッフとしてのCRCの育成と認定……………中 野 重 行…149S